

# 今度は脱税とリベート！金子社長の責任は重大

明治安田生命労働組合協議会

議長 首藤信次郎

こう次々と不祥事が出てくると会社の将来は一体どうなるのか。世間から白い目で見られているというのに、本社役員の行動は、部下に責任を転化し、自身の処分は軽くして平然としている。反省の念は全く伝わってこない。営業妨害しているのは本社幹部ではないのか！犯罪ボケしている役員は罷免し、現場の優秀な人材を役員に登用して改革することが急務である。そもそも、団交拒否するような人事部長に組合が協力するわけはなく、我々は徹底的に対決する。純プロ同様、Aラインも失敗するであろう。

最近の問題事項	会社の対応	組合見解
<p>保険業法違反・保険金未払いを理由に、金融庁から業務停止2週間・業務改善命令。 客からの苦情、解約が殺到。営業職員に対する補償問題も発生。</p>	<p>保険金部が勝手にやったことで、社長は知らなかったと釈明。しかし半年は無給にする。担当者は厳正に処分した。</p>	<p>保険金の支払いと支払い基準は会社の最重要事項。訴訟まで起されていたのに役員会で討議されなかったはずはない。今回の件で会社は信用を失墜し莫大な損害を被ったが、社内処分は極めて軽い。保険金部長は子会社で再雇用されている。</p>
<p>約50億円の申告漏れ、保険業法違反のリベート発覚。 重加算税も含め、十数億円の追徴課税。 5月1日朝日新聞朝刊トップにスクープ記事、翌日マスコミ各紙も報道。</p>	<p>国税当局との見解の相違であるが指摘には従った。 リベート問題は会社として関与していない。国税不服審判所に審査請求した。 関係者は厳正に処分した。</p>	<p>悪質な脱税だからこそ、重加算税を課せられたのではないか。会社は見解の相違などと反論し、反省の念がない。 リベートについて、国税は会社が関与していたと断定している。5年前に発覚した不祥事を、今年処分したというのも不可解、処分内容も不明。</p>
<p>リストラを目的とした、純増プロジェクト・セカンドキャリア開発・Aライン事業部制度などを強行実施。 総合職に新契約募集・代理店設置などのノルマを課し、未達者を追及</p>	<p>総合職だから保険募集も仕事のうち、誇りをもってやってもらいたい。 広く世間に目を向け、適職が見つかったら退職し、人生に再挑戦したらどうか。</p>	<p>人権無視のリストラに反対 総合職で入社した者に、月5件の契約ノルマ、メータ-表まで張り出して追求するのは一方的な職種変更であり、就業規則・労働協約違反。</p>
<p>労協との団交拒否。 公開質問書に拒否回答。会社を批判した全労組に対し事務所取り上げ、チェックオフ拒否などの脅迫。レディスユニオンには事務所も貸与せず組合差別。</p>	<p>組合と個別に団交しているので労協と交渉する必要はない。 質問書の内容が経営権に属する問題は解答しない。 会社提案の労働協約案に調印しなければ、協約に基づく便宜協約は行わない。</p>	<p>団交拒否は不当労働行為。 事務所取り上げは、組織崩壊を狙ったものである(その後会社は組合の反撃にあい通告を撤回) 旧安田生命の労務担当者は卑劣な組合潰しを常習的に行い、労使関係を悪化させた。</p>